

ほほ笑みの街 亀ヶ崎

第7号

平成29年7月28日発行



「あっ!ポンポンとコーンがはじけてる!」

おいしかったよ!楽しかったよ!

第1回おもしろ広場



亀ヶ崎コミュニティ振興会(会長本間宏)

では、青少年の健全育成を図るため「地域みんなの子ども」として位置づけ、各種行事を実施しています。行事の一つに港南コミ振と共催の「おもしろ広場」があります。今年度第1回「おもしろ広場」は、6月3日(土)150余名の子ども達と保護者が参加し楽しく実施されました。

♠ ヨーヨーや金魚すくいが楽しかったよ。(1男)

♠ 一番おいしいと思ったのは、わたあめです。こんどは何を作るのかとても楽しみです。(1男)

♠ お友達にもいっぱい会えて楽しかったよ。(1女)

♠ チョコフォンデュが洋服をよごすくらいおいしかったです。(5女)

♠ 一番おいしかったのはポップコーンです。はじけるし、塩の味がとっても合うから楽しかったです。今度おやつにポップコーンを作りたいです。今日はとっても楽しい1日になりました。(5男)

♥ 子ども達のために企画・準備・本番と大変だったと思います。子ども達、とっても楽しんでいました。子ども達にやらせて出来ないところを手伝ってくれる感じで温かく見守ってくれていました。(3女と年長の母)

会員相互で培ってきた自信と 更なる創意工夫で事業を推進!

平成29年度亀ヶ崎コミュニティ振興会事業計画

●基本姿勢

コミュニティづくりは住みよい地域社会づくりであります。

それを構築するのは、住民ひとり一人の「意識のかかわり」が必要です。住民としての自主性と責任を自覚しながら、役割を分担し共に活動することによって実現可能となります。

当振興会では地域住民の声を聞き、それらを反映させ、お互いに「協働」を共にしながら、コミュニティ活動を推進します。
一、事務局体制について

現在港南コミセン内に事務局を設置し2名のパート職員を配置して事務処理と住民対応をしています。活動拠点が完成するまでこの体制を維持し、創意工夫をしながら地域住民へ不自由を掛けない体制を目指します。

二、地域福祉活動推進

地域住民すべてがこの地域や家庭で、自分らしく生活が出来るように亀ヶ崎社協が中心となり、昨年度から着手した「新たな支え合い活動」も具体的な話し合いが始まっています。何が実現可能か。地域課題も抽出され、これからの正念場です。社協と連携を図りながら推進します。

三、福祉事業の展開

コミュニティ振興会が中心となり、地域の住民同士の連携と親睦を図るため、今年度も「文化祭」・「ほほ笑みサロン」・「新春の集い」などを開催していきます。



定期総会 4月17日

四、生涯学習

カルチャー教室は今年度も松原コミ振との共催事業です。スポーツクラブは従来の運営方法を踏襲し進めていきます。

昨年度から新設の「ほほ笑み学級」は、充実した活動を実施しています。

五、自主防災活動

亀ヶ崎コミ振では自主防災組織を強化し地域全体の防災意識を高め災害に強い町作りを推進します。今年度は、総合防災訓練を亀ヶ崎小会場で行う予定です。

六、広報活動

年2回発行の会報「ほほ笑みの街亀ヶ崎」で振興会の活動を伝達しています。更に読みやすい会報を心懸けていきます。又「ほほ笑み通信」を随時発行し情報伝達を図っていきます。

七、亀ヶ崎コミュニティ

防災センター建設について

コミセン建設実現に向け「建設準備委員会」発足後4年間活動して来ました。今後も関係団体、行政との信義を重んじた行動と連携を重視し、行政側の早期建設に向けた動きが活発になるよう願っております。

役員紹介

会長

本間 宏 (末広町東部)

副会長

天野 紘典 (横道町)

渡部 敏次 (亀ヶ崎二丁目)

事務局長

東根 幸紀 (最上町)

理事

佐藤 宏 松本 文雄

五十嵐良吉 栗田 幸春

高山 良雄 守屋 洋輔

菅原 秀夫 加藤 曠

佐々木和資 堀 正彦

阿部 克明 武田 正三

渡部 公夫 矢野 智子

阿部 宣子 大渊ミネ子

藤丸 美生 富樫 昌治

松本 国博 杉山 義法

田澤 薫

監事

工藤 晃一 伊東 勉

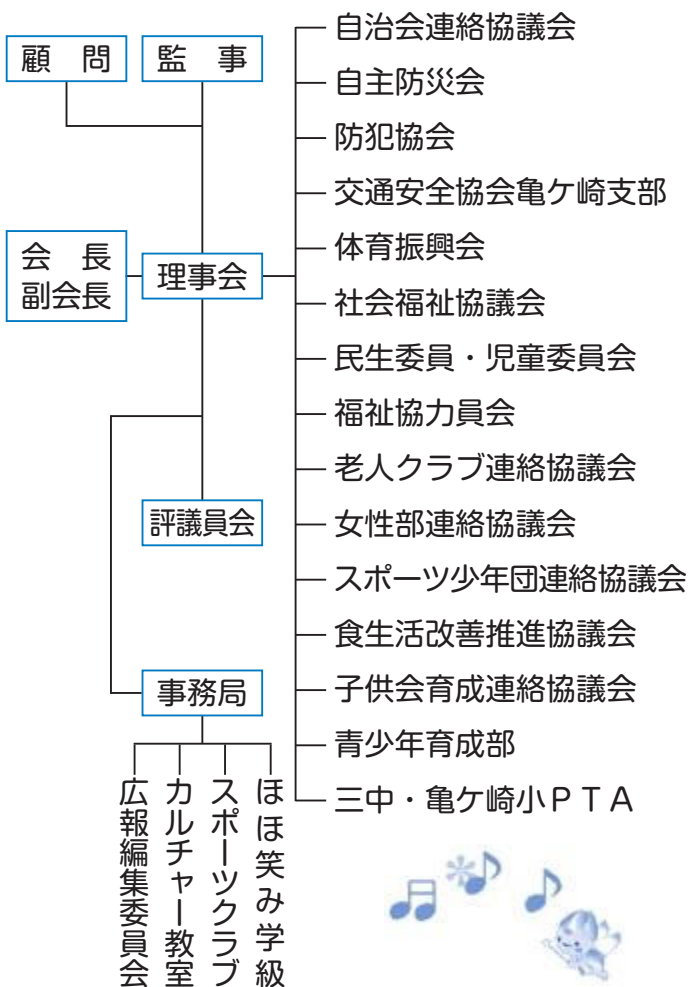
事務職員

金野 一枝 森 廣

平成29年度

【組織図】

(構成団体)



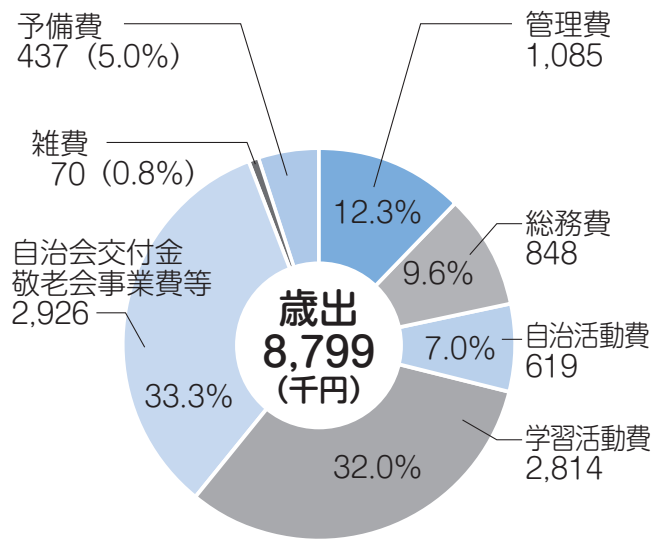
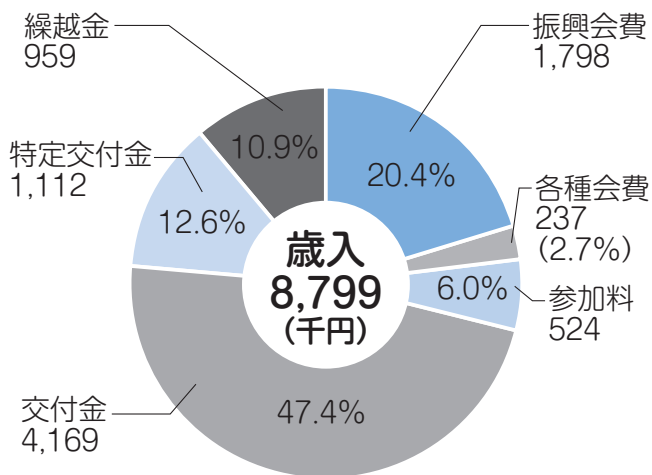
【主な事業予定】

- 5月5日 第66回酒田市こどもまつり
- 6月3日 第1回おもしろ広場
- 6月4日 第4回亀ケ崎自治会親善大運動会
- 4月~12月 支部指定交差点早朝街頭指導
- 7月~10月 地区交通安全家庭訪問指導
- 7月30日 会報「ほほ笑みの街亀ケ崎」第7号発行
- 通年 青色回転灯自主防犯パトロール
- 7月24日~8月23日 夏の地域巡回指導(防犯パトロール)
- 8月20日 第4回亀ケ崎自治会親善球技大会
- 10月未定 亀ケ崎自主防災会総合防災訓練
- 10月7・8日 第4回文化祭「ほほ笑み祭りin亀ケ崎」
- 11月 日 第2回おもしろ広場
- 11月3日 第4回亀ケ崎自治会親善グラウンドゴルフ大会
- 12月 日 第3回おもしろ広場
- 1月28日 亀ケ崎軽スポーツフェスティバル
- 1月 日 第4回「新春の集い」囲碁・将棋・麻雀大会
- 2月 第2回「ほほ笑みサロン」
- 2月29日 会報「ほほ笑みの街亀ケ崎」第8号発行

※他に各団体活動がありますので回覧板をご覧ください。

【収支予算】

※千円以下四捨五入



ほほ笑み学級に集う

人材と風土が支える酒田を

丸山至酒田市長を迎えて

ほほ笑み学級は5月30日松原
コミセンにおいて、49名の参加
者を得て開級式並びに第1回講
座が開催されました。学級の目
標として今年度は地域支え合い

を加味し、お互いに支え、支え
られ、この地域で自分らしく生
きていくために、心と身体を鍛
える学級にすることを確認しあ
いました。講座は私たちが住ん
でいる酒田市は、亀ヶ崎地域は
どうなっているのか。また将来
はどうなっていくのかをテーマ
に、丸山至酒田市長をお迎えし、
地域課題をも含めて酒田市の現
状を、熱く語ってもらいました。
市長自ら亀ヶ崎地域に来るこ
とは珍しいことであり、お互い
に「生の声」を出し合っただけ
見交換もあり有意義な講座とな
りました。丸山市政の主な指針
は「人材と風土が支える産業・
交流都市酒田」を実現するため
に全力を尽くしており、今後も

この姿勢で執行していくという
ものでした。具体的に実現され
たものをひとつひとつ、やさし
い言葉で自信を持った語り口に
皆が聞き惚れた時間でした。

地域重要課題である「亀ヶ崎
コミセン建設」については、市
長の考えをお聞きしたうえで、建
設必要について地域住民の総意
であることを、大きな声で届け
ることが出来たこと、そして「新
酒田市総合計画」にいか載せ
ていくのか、喫緊の課題である
ことも判明しました。



酒田市の現状を熱く語る市長



食べているつもりでも栄養不足に？ 「低栄養」に気をつけましょう

亀ヶ崎食生活改善推進協議会会長 阿部 宣子

豊富な食材がいつも手に届く
ところにあり、私たちの食生活
を満たしている飽食時代に「低
栄養」ということがあるのでし
ょうか。「低栄養」とは、健康

な体を保って日常生活を送るの
に必要な栄養素が不足した状態
のこと、特に高齢期の方は自覚
がないまま低栄養から寝たきり
へ至るケースもあり注意が必要
です。症状として体重減少、食
欲不振、体力の減退、貧血、体
がだるいなどがあります。

予防はどうすればよいのでし
ょうか。動物性たんぱく質を中
心に様々な栄養素を摂り、体を
動かすことです。ただ、エネル
ギーを十分摂っていても、たん
ぱく質、ビタミン、ミネラルが
きちんと摂れていない場合が多
くみられます。ご飯やパンなど
の炭水化物ばかりでなく、肉や
魚・卵・豆などから質のよいた
んぱく質を摂り、野菜や果物、

海藻、乳製品とまんべんなくバ
ランス良く食べるように心掛け
ましょう。

低栄養について症状、予防な
どを述べましたが個人差はあり
ます。年齢とともに変化する「か
らだ」のことを理解し、それに
合わせて対応していくことも必
要です。

「低栄養予防」は「元気で長
生き」の道しるべです。予防に
より老化の進行、寝たきりや閉
じこもりなども解消されます。

低栄養を予防し、日常生活で
も趣味を愛し、外出したりとい
キキした「活動的な毎日」を
送りましょう。

10食品群チェックシート

	肉類	魚類	卵類	豆類	乳類	海藻類	野菜類	果物類	穀類	合計
1日										
2日										
3日										
4日										
5日										
6日										
7日										
8日										
9日										
10日										
11日										
12日										
13日										
14日										

チェックシートで
毎日の食事を
調べてみましょう!

見守り活動に感謝

亀ヶ崎小学校長 大谷智之

子どもたちが校舎に入り終えるのは7時50分前。早い地域では7時30分頃に登校しています。子どもたちの登校は早いのです。そんな子どもたちの登校を見守ってくださる方々がたくさんいらっしゃいます。

子どもたちが登校する時刻になると自分の家の前に立って、ここにこしながら「おはよう」と声をかけて下さる方がいらっしゃいます。子どもたちも大きな声で返事を返しています。子どもたちの登校班といっしょに通学路を歩き子どもたちが自分たちで安全に通えそうな所まで来ると戻ってしまおう方もいらっしゃいます。毎朝、たくさんの方が見守って下さっているのです。

子どもたちは安心して元気に声をかけます。道路の反対側を歩く登校隊の子どもたちも大きな声で挨拶しています。見守って

くれている地域の人という認識を子どもたちは持っているのです。

先日から子どもたちと一緒にいろいろな通学路を歩いてみました。たくさんの方が子どもたちを見守って下さっていることが分かりました。子どもたちを大切にして下さる地域に住み、亀ヶ崎小の子どもたちは幸せだなと思いました。



きちんと一列に並んで歩いています

三コミ (三中Community) 活動について

酒田市立第三中学校

「地域のために何ができるだろうか。」という中学生たちの思いから始まった酒田三中の三コミ活動は、多くの方々に支えられて13年目に入りました。地域の一員としての学習全体を『三コミ』と呼んでいます。その中で、全校生徒で取り組んでいる「自分の地域での活動」が、「三コミ活動」です。「三コミ活動」は、単なるボランティア活動ではありません。中学生が、地域に生きる人間の一人として自分たちに出来ることを考え、地域の中で実行し、成長するための活動です。活動が継続する中で、生徒や地域の方々からも「もっと親もかかわろう」というありがたいご意見をいただいています。

これまでは3年生を中心に活動を進めてきましたが、昨年度から新しい取り組みを始めまし

た。三コミの活動内容を計画する「未来を語る会」を全校生徒の参加にし、生徒の意識を高めようとしていることです。

今年度の「三コミ活動」は、夏祭りの手伝い…後片付け、公園清掃、資源回収など地区ごとに計画されています。今後とも、三中生の学習活動にご支援・ご協力いただけますようお願い申し上げます。

「未来を語る会」
「三コミ活動の話し合い」

カルチャークラス

里山トレッキング教室

残雪とお花畑を散策

平成29年6月20日(火)会員15名で鳥海山お浜まで登ってききました。天候は晴れ、残雪の上を歩くのは爽快でした。

午前8時50分大平登山口からゆっくり登りお浜付近の広場に着いたのが丁度お昼頃でした。

花は途中にシラネアオイなどが咲きお浜付近にはハクサンイチゲ、ミヤマキンバイが一面咲いておりお花畑でした。そのお花畑の中で1時間位のんびりお昼を食べ、鳥海山を満喫した山歩きでした。(鈴木正市)



ハクサンイチゲがびっしり

ほほ笑みの街亀ヶ崎

第7号

平成29年7月28日発行

発行●亀ヶ崎コミユニティ振興会

〒998-0836 酒田市入船町3-15 港南コミユニティ防災センター内

発行責任者●本間 宏

亀ヶ崎
歴史探訪

亀ヶ崎城 その1

亀ヶ崎城は、最上川と新井田川の合流地点北東に位置する中世〜近世にかけての輪郭式城郭である。慶長8年以前は東禅寺城、以後は亀ヶ崎城と称したが、酒田城とも呼ばれた。

現在の遺構は近世のもので、標高3メートルの微高地に、南西縁に最上川(古川)、北東縁に低湿地を配して構築された平城であり、三重ないし四重の壕をめぐらしていた。(つづく)



(亀ヶ崎農家区編・亀ヶ崎史より引用)

亀コミ振理事視察研修報告

6月27日、鶴岡方面の(株)高研鶴岡工場と山形県栽培漁業センターの業務内容や運営等について研修した。高研は、医用シリコンの人工皮膚などの研究開発から生体モデル、コラーゲン化粧、医療への応用等幅広く製品を提供している。漁業センターでは、数万匹のひらめやヤマメ、数十万個のあわびの種苗を育て放流に向け真剣に業務に取り組んでいた。



赤ん坊だば めんごもんだの～

編集後記

◇初めて耳にする四字熟語に睡眠負債があります。睡眠を十分(7時間前後)取らないと睡眠負債に陥り疾病するそうです。皆さん、睡眠は十分ですか。(宏)
◇天才棋士は5歳から将棋をやり木製積み木やパズルで遊んだ。私の5歳の頃は鼻水を垂らし外遊びで膝を擦りむいていた。凡人の身なれど老後は認知症にならず過ごしていきたい。(藤丸)

編集委員

- 五十嵐美智
- 栗田 幸春
- 金野 一枝
- 東根 幸紀
- 藤丸 美生
- 本間 宏

温もりを親から子へ うどがわら 鵜渡川原人形⑦

今回の鵜渡川原人形は、花婿と花嫁です。子どもの誕生祝いに買うのは健やかに成長し幸せな結婚を願う親心と思いますが、赤ちゃんの顔を見ると嫁にはやらないと言う父親が身近にもいます。



花婿と花嫁